加茂市 環境基本計画 概要

計画策定の背景と役割

- 2023年3月に、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指す「加茂市ゼロカーボンシティ宣言」を表明
- 脱炭素化を含め、加茂市総合計画に掲げるまちの将来像を環境面から実現するために本計画を策定
- 市民、事業者、行政が環境に関する取組を行う際の共通の指針

計画の基本的事項

- 「加茂市環境基本条例」第8条の規定に基づいて策定する地域版の環境基本計画
- 目標年次は2030年とし、進捗状況に応じて見直し

加茂市の現状と課題

- 加茂市の人口は、1950年から減少が続いており、今後もさらに減少し少子高齢化が進むと予測
- 地域資源を活かした住みよい環境を整え、移住者や関係人口を増やしていくことが必要
- 粟ヶ岳を水源とする加茂川が、自然の恵みをもたらしている
- 加茂山の雪椿や公園、リス園が市民の憩いの場となっている
- 豊かな自然を保全しつつ、観光資源や文化を人々の交流の場として活用することが重要
- 日常生活の省エネルギー化（省エネ化）や再生可能エネルギー（再エネ）の導入が必要
- 1人1日あたりごみ排出量は減少しているが、今後さらにごみ減量化や分別回収による再資源化が必要

目指す環境像と将来のまちの姿

豊かな自然と笑顔あふれる持続可能なまち

地球環境

地域でエネルギーを生み、エネルギーを無駄なく使う脱炭素化が、地域の暮らしや仕事の質を高めているまち

- 再エネ導入や暮らし・仕事の省エネ化が、新たな仕事や収入を生み、快適で健康な暮らしにつながっている
- 環境に配慮した豊かなライフスタイルが浸透している
- 気候変動の影響を把握し、起こりうる災害や健康被害に対策している

まち環境

資源を大切に使い、鯉のぼり・雪椿まつりなど里山や自然を活かした行事・文化を継承しながら、快適で健康な暮らしが実現しているまち

- 廃棄物や不要になったものを有効活用する仕組みができていて、資源が循環している
- 自然とまちが調和した緑豊かな景観と住みよい生活環境が、まちの魅力となっている

自然環境

粟ヶ岳・信濃川・加茂川をはじめとする豊かな自然と農業の営みが、多様な生態系の維持や人々が集う賑わいを生み出すまち

- 人と自然が共生し、多様な生物の生息環境が大切に守られている
- 環境や生態系に配慮した農業や森林管理が実施され、農地や森林の様々な機能が維持されている
- 加茂の自然が人々の触れ合いの場となり、観光資源にもなっている

連携と協働

- 市民・事業者・行政が協働し、自然資源を活かした地域づくりを行っている
- 市内外に魅力を発信することで、人が集まり、賑わうまちになっている

分野ごとの方向性と取組

1. 地球環境

- 地域でエネルギーを生む再エネの積極的な導入と、無駄のないエネルギー利用を実現する省エネ化を通じ、脱炭素化と豊かな生活や地域経済の活性化を同時に進める

施策の方向性	主な取組
使うモノを変える： 再エネと省エネによる脱炭素化促進	• 再生可能エネルギー導入拡大によるエネルギーの脱炭素化・地産地消 • 効率的にエネルギーを利用する設備への更新で暮らしや仕事を豊か・快適に • 温室効果ガスを排出する化石燃料利用の削減・転換
行動を変える： 環境配慮型ライフスタイルの浸透	• 脱炭素型で利用しやすい公共交通の整備・利活用 • 省エネ行動の実践と定着 • ごみ排出量の削減や資源の再利用、地産地消やエシカル消費の推進
将来に備える：気候変動への適応	• 自然災害による被害の予防と対策 • 気温上昇による健康被害や農林業における被害の予防と対策

2. まち環境

- 資源を大切に使いつつ、地域で得られるエネルギーを有効に活用することで、循環型社会を構築
- 緑豊かで、快適で健康的な暮らしができるまちとして、地域の魅力を高める

施策の方向性	主な取組
ごみの減量化と再資源化	• ５R(リフューズ［発生回避］、リデュース［排出抑制］、リユース［再使用］、リサイクル［再資源化］、リペア［修理］)の推進 • ごみの適正な処理と不法投棄の未然防止
自然と調和した景観と 良好な生活環境の確保	• 緑地や公園の整備と自然を活かした景観づくり • かもんバス等の公共交通機関の利便性向上 • 大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの公害防止と生活排水処理対策の推進

3. 自然環境

- 粟ヶ岳、信濃川、加茂川をはじめとする豊かな自然資源を交流の場として活用するとともに、自然の景観や生物の生息環境を保全する

施策の方向性	主な取組
生物多様性の保全・人と自然のふれあいの推進	• 里地里山・生物多様性の保全と外来種の適切な管理 • 自然体験やグリーンツーリズムの促進 • 加茂山や加茂川の整備・美化
農地・森林の保全と活用	• 環境保全型農業に取り組む農業者への支援 • 耕作放棄地の有効活用と地域農業の振興 • 有害鳥獣捕獲等の担い手確保支援や農業者への被害防除支援 • 森林の適正管理と森林資源の有効活用

4. 連携と協働

- 様々な主体と協働・連携し、豊かな自然や農地などを活かした環境保全活動や環境学習、情報発信を推進することで、加茂の自然への愛着形成、魅力あるまちづくり、それを担う人材育成を進める

施策の方向性	主な取組
環境学習の推進	• 自然や農地などを活用した体験活動の実施 • 市内の学校と連携した環境学習の実施など次世代を担う人材育成
多様な主体との連携と発信	• 環境美化活動・環境保全活動の支援 • かも美化サポーター事業の広報・周知 • 環境やまちの魅力に関する情報の市内外への積極的な発信